

### 第3回統計分類専門会議 議事概要

1 日時：平成24年5月24日（木）16:00～17:40

2 場所：総務省第二庁舎7階中会議室

3 出席者：

（学識経験者）伊藤構成員、牛尾構成員、大林構成員、斎藤構成員、清水構成員

（各府省庁等）内閣府、金融庁、総務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、日本銀行（※法務省、環境省は欠席）

（事務局）総務省政策統括官付統計審査官室：伊藤統括官、高田統計審査官ほか

4 議題

（1）日本標準産業分類の改定に係る「統計分類専門会議」の運営について

（2）日本標準産業分類の改定基本方針案について

（3）その他

5 議事概要

（1）議題1 日本標準産業分類に係る「統計分類専門会議」の運営について  
事務局から、資料1-1から資料1-3について説明。  
構成員からは異議等なく、了解された。

（2）議題2 日本標準産業分類の改定基本方針について

事務局から、資料2-1から資料2-3に基づき改定のための体制、分類項目を検討するための量的基準、スケジュール等について説明が行われた。説明後の主な質疑応答は以下のとおり。

- これまでも産業分類の改定作業に携わってきたが、今回、改めてフレッシュな気持ちで、議論していきたい。産業分類の体系自体は理論的に決められたものだが、それが現実に適合しているか、現実には常に変化しているがその変化を的確にとらえる分類になっているか、十分な議論をお願いしたい。
- 国際経済を研究している立場から申し上げますと、産業分類は大枠の分類として使用し、更に詳細な分類は商品分類による、ということをやっていた。現在の日本標準産業分類のどの部分を改定すべきか、現時点で具体的な考えを持っているわけではないが、統計ユーザーの立場から議論に参加していきたい。
- 現行の商品分類にはHS（世界関税機構「商品の名称及び分類についての統一システム」）との対応コードが付いているが、財務省等各府省の協力を得て成し遂げられた。今回の改定においても各府省の分類窓口、政策部局と十分な連携を取っていただきたい。協力がないとタイトなスケジュールの中で良いものがない。
- 「改定基本方針」の位置づけについて確認したい。まず基本方針を決定した上で検討チームにおいて具体的改定案を検討するのか、あるいは検討チームで議論を重ねて改定基本方針を決定するという形で進めるのか。  
→ この「基本方針」は、これからの作業を進めるに当たっての基本方針。今日の会議の意見

を踏まえて速やかに決定し、それを踏まえて、今後、検討チームにおいて具体的改定案を検討する。

- 来年、経済センサス-活動調査の結果が公表されるが、来年そのデータを改定案の微調整で使うことを想定しているのか。
  - 経済センサス-活動調査は、産業分類を検討するのに重要なデータとは認識しているが、同調査の結果を待ってから産業分類改定の検討を行うこととすると、平成 26 年の経済センサス-基礎調査に間に合わなくなる。基礎調査と活動調査との間で分類が改定されるのは望ましくないとすると、結局は、前回改定から 10 年後ということになってしまう。従って、今あるデータでの改定を考えている。
  - スケジュール的に間に合わないということで、可能な限り最も直近の統計を量的判断に使わざるを得ない。ただ、既存の統計調査の結果でも検討は可能という印象を持っている。5 年おきの見直しに積極的に対応しようということだと理解いただきたい。
- 統計のユーザーとしては、前回の改定に限らず改定があると時系列データが取れなくなるのが一番困る。改定の必要性については理解しているので、そういった視点から議論に参加していこうと思う。
- 前回の改定時に課題として挙げられた「管理、補助的経済活動を行う事業所の統計調査の実査上の問題の把握・検討」については、経済センサス-活動調査の実査上の問題点集約が平成 25 年 3 月以降とのことで、スケジュール的に厳しいかなと思うが、今後開催される産業分類検討チーム等で検討していただきたい。
- 産業分類と商品分類は車の両輪であり、その視点からの検討材料が必要である。今後商品分類の見直しが行われることになるので、そういった点も視野に入れていただきたい。併せて、SNA 及び IO 等、他の統計との連携についても引き続き配慮いただきたい。確認だが、資料に「主な議題」が列挙されているが、今後議論の過程で追加もありえるのか。
  - 議論の過程で議題は追加できる。今の段階で想定しているものを列挙している。(事務局)
  - 内閣府が必要とする分類の問題と他の府省が考えている問題は多少違いがある。産業分類は供給サイドにかかわる統計基準である。一方、内閣府は需要サイドで消費の構造をとらえたい。産業分類と商品分類をリンクすることは望ましいが、コンセプトが異なっているので容易でない。何らかの対応ができるような議論を十数回の議論でお願いすることになるのではないか。

### (3) 議題 3 その他

- 基本方針については、本日の議論で構成員のご理解がいただけたので、速やかに政策統括官決裁で決定させていただく。次回の検討チームの日程等は、別途連絡する。